

## 8月1日(金) 体験入学

本校にて体験入学を実施しました。今年は午前・午後の2部制で開催し、466名の中学生が参加しました。はじめに、学校説明・入試説明について収録動画で配信し、本校の教育方針や総合学科の特色、入試制度の概要を紹介しました。その後、各教科による体験授業を実施しました。国語・数学・理科・社会・英語に加え、家庭科や保健体育、商業など全17講座が開講されました。続いて行われた在校生との座談会では、中学生やその保護者の方から質問を受け、本校生徒が回答する等、和やかな雰囲気で行うことができました。

また、部活動紹介では、各部が活動内容や成果をポスターや作品、動画で紹介しました。講義室では、吹奏楽部によるミニコンサートが開催され、多くの方々に演奏をご鑑賞いただきました。案内や座談会での運営には在校生が携わり、受付や誘導、説明対応などにあたりました。

学校説明・入試説明の様子



体験授業の様子



在校生との座談会の様子



部活動紹介ポスター



吹奏楽部によるミニコンサート



## 卓球部 車いす卓球練習会ボランティア参加

8 / 2 (土)・3 (日) @ 県立障害者スポーツ交流館

明石市在住でパラリンピック出場経験のある別所キミエさんが主催する車いす卓球練習会に、補助員として参加しました。2日間、ボール拾いやゲームの審判、練習相手を務めました。車いす卓球を実際に見るのは初めてでしたが、2日間の活動を通して、部員たちは何らかの気づきを得たのではないかと思います。



## 9月1日(月)第2学期始業式・ALT着任式



本日、2学期の始業式を行いました。暑さへの配慮からリモート形式とし、生徒は各教室で参加しました。式では、校長先生より「やればできるという精神を大切に、失敗を恐れず挑戦すること」「一人で抱え込まず相談すること」「心身ともに健康な生活を送ること」といったメッセージが伝えられました。新学期に向けて、自分の目標を意識し、日々の積み重ねが大切であることを強調されました。

続いて、新しく本校に着任されたALTのオハロラン・ノア先生の紹介がありました。先生はオーストラリア出身で、英語の授業やESS部の活動を担当されます。「楽しく英語を学びましょう」との挨拶に、生徒たちは関心を持って耳を傾けていました。

また、表彰伝達も行われました。7月から8月に行われた全国大会やコンクールにより、優秀な成績を修めたウエイトリフティング部、書道部、美術部が表彰されました。



ウエイトリフティング部



書道部



美術部



## 9月5日(金)「総合的な探究の時間」特別授業



2学期の「総合的な探究の時間」がスタートしました。1学期はグループで SDGs に関わる課題に取り組みましたが、2学期からはその経験を踏まえ、一人ひとりが自分のテーマを設定し、個人での課題研究に挑戦していきます。

その第一歩として、9月5日(金)に、「問いの設定と研究方法について」をテーマに、神戸松蔭大学の待田昌二教授にご講義いただきました。講義では、テーマ選びの重要性やテーマを決定する際のプロセス・注意点を丁寧に示していただきました。また、生成 AI を活用する際の工夫や注意点、さらにはフィールドワークを行う際の具体的な手法など、課題研究を進めるうえで必要となる実践的な視点を数多くご教示いただきました。

9月19日(金)からは、いよいよゼミごとに分かれて本格的な課題研究が始まります。今回の学びを土台として自分で設定した問いを深め、調査・分析・考察を重ねていきます。探究活動を通じて、課題発見力や論理的思考力、情報を適切に活用する力、さらには社会と主体的に関わる姿勢を身に付けていきたいと思っています。



## 9月8日(月) 2年次修学旅行結団式



修学旅行の結団式を行いました。2年次は、明日から北海道への修学旅行に出発します。式では、団長である教頭先生から「時間・ルール・マナーを守り、仲間と協力しながら多くを学び、そして楽しむこと」を大切にしてほしいとのお話がありました。続いて、修学旅行委員長が決意を述べ、引率を担当される先生方の紹介も行われました。生徒たちは期待と緊張を胸に、真剣な表情で耳を傾けていました。明日からの4日間、自然や文化に触れ、仲間との絆を深めながら多くの思い出を作ってくれることを願っています。

9月11日（木）産業社会と人間「職業新聞制作」

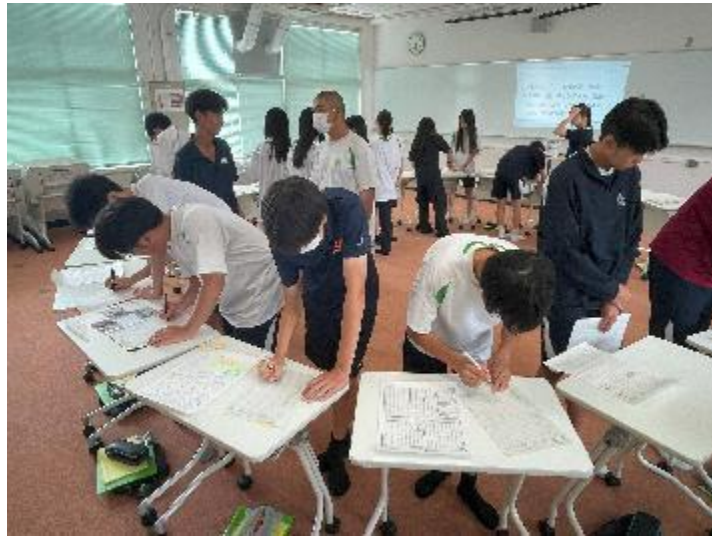


本日の「産業社会と人間」の授業では、生徒たちが夏休み中に取り組んだ「職業人インタビュー」をもとに「職業新聞」の制作活動を行いました。この取り組みでは、生徒一人ひとりが自分の興味、関心のある職業に従事されている方に実際にアポイントを取り、直接お話を伺いました。その内容をもとに、新聞を制作しています。

この活動を通して、生徒たちはさまざまな職業への理解を深めるとともに、将来の進路選択に向けて貴重な学びを得ています。また、取材で得た情報を分かりやすくまとめ、表現することで、伝える力、書く力の向上につながっています。

次回の授業では、完成した新聞の輪読、相互評価を行う予定です。優れた作品については、1月に実施される「総合学科発表会」で展示を行い、学内外の皆さまにもご覧いただける機会を設ける予定です。

9月18日（木）産業社会と人間「職業新聞輪読」



本日の「産業社会と人間」の授業では、生徒たちが3時間をかけて制作した「職業新聞」の輪読活動を行いました。これは、それぞれが関心を持った職業について調べ、記事としてまとめたものをクラス内で共有し合う取り組みです。

輪読では、仲間の新聞を読みながら、特に優れていると感じた点に付箋を貼って評価しました。多くの付箋が集まった作品の制作者は、授業の最後に前に出て、自身の新聞づくりの工夫や調査で得た気づきなどを発表しました。

どの新聞にも、それぞれの生徒が工夫を凝らし、文章表現やレイアウト、職業への関心の深さがにじみ出る力作ばかりでした。この活動を通して、生徒たちは単に職業について知るだけでなく、他者の表現を読み取り、自分の考えを発信する力も養うことができました。



9月19日（金）理数探究 同志社大学理工学部 機能分子・生命化学科  
西村先生によるゼミ指導



9月19日（金）2年次理数探究ゼミに同志社大学理工学部助教の西村先生にご来校いただきました。物理ゼミ・生物ゼミ・化学ゼミにご参加いただき、各々の実験・研究班に対してご助言をいただきました。ゼミ形式授業（物理・生物）では、各生徒（班）の研究テーマやその進捗状況に対して、また、実際に実験が行われていた化学実験室では、実験内容および実験方法に対して、工夫すべき点や多くのご助言をいただき、生徒たちにとって、学びの多い実りあるものとなりました。今後は西村先生のご助言をもとに、新たに研究を深めていきます。

## 9月22日（月）産業社会と人間 言葉を磨き、未来をつくる小論文学習



本校総合学科の必修科目「産業社会と人間」では、80 回生 1 年次全員が小論文学習に取り組んでいます。

この授業は、生徒一人ひとりが **自己理解** と **社会理解** を深め、将来の生き方や進路について考えることを目的としています。小論文学習は、調べたことや考えを自分の言葉で整理し、論理的に表現する力を育てる活動です。

小論文を通して、

- ・ **思考力・判断力・表現力** の育成
- ・ 自分の体験や価値観を見つめ直す **自己理解**
- ・ 社会の課題や職業の役割を学ぶ **社会理解**

が進み、将来の志望理由書や面接にもつながる表現力を身につけることができます。

本校では、このような学びを通じて「探究活動」や「進路選択」へとつなげ、主体的に将来を切り拓く力を育んでいます。

## 9月26日（金）総合的な探究の時間



「総合的な探究の時間」では、2学期から始まったゼミ別の課題研究が本格的に進められています。今年度は、生徒の関心や探究のスタイルに合わせて、論文重視型とフィールドワーク重視型の2つのタイプのゼミに分かれて活動しています。

論文重視型ゼミでは、各自が設定したテーマについて、専門的な論文を読み込みながら先行研究の調査を丁寧に行い、研究の方向性を固めています。

一方、フィールドワーク重視型ゼミでは、地域や社会と関わる実践的な活動が始まりました。教育実践探究ゼミでは、鳥羽小学校を訪問し、小学生と高校生が一緒に行う授業づくりに向けて打ち合わせを行いました。地域文化探究ゼミでは、1学期からの探究内容を継続し、「リデュースで食品ロスをなくす」を目標に、普段なら捨ててしまうキャベツの芯やニンジンの皮を使った「野菜くず発酵スティック」のレシピを実際に調理・試食し、その結果を分析しました。また、放送・デザインゼミでは、デザインツール「Canva」を活用してポスターを制作に挑戦しました。

このように、各ゼミで主体的にテーマを深め、実践と理論の両面から探究を進めています。今後も、それぞれが設定したテーマをもとに、多様な調査・実験・活動を通して探究をさらに深めていく予定です。



10月2日（木） 1年次、産業社会と人間「地域産業学習」



本日より「地域産業学習」がスタートしました。この学習プログラムは、地元・明石の企業について深く学ぶことを目的としており、地域の産業や企業活動に対する理解を深めるとともに、将来の進路選択や地域貢献への意識を育てるものです。

オリエンテーションを行い、地域産業学習の全体の流れや目的について確認しました。明石市内にある企業の現状や、どのような業種・職種があるのかについての説明がありました。また、連携する地元企業についても紹介が行われました。

今後は、企業から提示された課題に対して生徒たちが企画書を作成し、実践的な学びを進めていきます。そして、11月には協力企業の方々を学校にお招きし、直接講義を行っていただく予定です。地域と連携した貴重な機会を通じて、生徒たちが主体的に学び、地元への理解を深めていくことを期待しています。

10月6日（月） 1年次、産業社会と人間、第2回「地域産業学習」



本日、「地域産業学習」の一環として、進路指導部・就職担当の家現教諭による講義が行われました。長年にわたり本校生の就職指導に携わってきた経験をもとに、「なぜ仕事をするのか」「企業が求める人材とは」「今、何をすべきか」といったテーマについて、ロールプレイを交えながらわかりやすくお話いただきました。

生徒たちは、将来の職業選択をより具体的に考える機会となり、集中して講義に臨んでいました。講義の最後には、実際に内定を得た3年次の面接練習の様子を取めた映像も視聴しました。進路実現に向けた真剣な姿を見て、強く心を動かされた様子でした。

## 10月8日（水） 体育祭予行



本日、全校生徒による体育祭予行を実施しました。台風の接近が心配されましたが、進路がそれたことで予定通り晴天のもとで行うことができました。開会式に続いて、各学年の団体競技やリレーの動きを確認し、入退場や係の連携など本番に向けた最終確認を行いました。また、この日は体育祭の一部競技である綱引きの1・2回戦も行われ、各クラスが声を張り上げ、力いっぱい綱を引き合う姿が見られました。グラウンドには大きな歓声が響き、本番さながらの盛り上がりとなりました。



10月17日（金） 2年次、総合的な探究の時間



総合的な探究の時間では、論文重視型ゼミとフィールドワーク重視型ゼミに分かれて探究を深めています。

論文重視型ゼミでは、5限に、各自が設定したリサーチクエスチョンについて「対象の明確さ・用語の定義・社会課題や学術分野とのつながり」を基準にグループで意見交換を行い、新たな視点を取り入れて問いの精度を高めました。続く6限は、今後のフィールドワークに向けて、手法や進め方を確認するオリエンテーションを行いました。

フィールドワーク重視型ゼミでは、教育実践探究ゼミが鳥羽小学校を訪問し、本校生徒が企画したレクリエーションを小学生と一緒に楽しみました。参加した小学生からは「また来てほしい！もっとなかよくなりたい！」といった温かい感想が寄せられました。ほかにも、放送・デザインゼミは行事の1分間動画を制作し、生活文化ゼミはコンテストに向けて梅を使ったメニューの試作に取り組むなど、各ゼミの特色を生かした活動が進みました。

来週は中間考査のためお休みです。次回は10/31（金）に、本日の学びを基に探究をさらに進めていきます。

## 10月29日（水）「産業社会と人間」小論文講演会



1年次の「産業社会と人間」の授業で、学研より小論文指導の専門家・田中信隆先生をお招きし、「良い小論文を書くために必要なこと」をテーマにご講演いただきました。

講演では、論理的で説得力のある文章を書くための具体的な方法や、構成の立て方、自分の考えをわかりやすく伝えるコツなどを丁寧に教えていただきました。

翌日の授業では、講演で学んだことを生かして、実際に小論文作成に挑戦しました。生徒たちは構成メモを作成し、自分の考えを整理しながら文章を書き進めていました。

本校では、2年次の「総合的な探究」3年次の「課題研究」、さらに2年後の入試を見据えて論理的で説得力のある文章表現ができるようになることを目指し、1年次から継続的に文章を書く練習に取り組んでいます。今回の講演と実践は、生徒たちが自分の考えを言葉で表現する力を高める貴重な機会となりました。



10月31日（金） 2年次 総合的な探究の時間



中間審査が終わり、探究活動が再開しました。

論文重視型ゼミでは、前回の意見交換をもとにリサーチクエスチョンや仮説を見直し、今後のフィールドワークに向けて企画を進めています。

フィールドワーク重視型ゼミでは、放送・デザインゼミと社会文化探究ゼミが合同で、明石市役所シティセールス課の方をお招きし、「明石市の魅力発信」をテーマにグループ活動を行いました。生徒たちは、明石市の魅力について意見を出し合い、発信方法を具体的に考えました。また、教育実践探究ゼミでは前回に続き、鳥羽小学校を訪問し、本校生徒が企画したレクリエーションを実施しました。参加した小学生と交流を深めながら、教育現場での実践を通して学びを深めています。このほか、スポーツ・健康科学ゼミⅠ・Ⅱや生活文化ゼミでも、それぞれの分野で探究活動が進められています。

どのゼミでもリサーチクエスチョンの設定を終え、仮説の検証やフィールドワークに向けて、探究活動もいよいよ次のステップへと進んでいきます。



## 11月5日（水）、6日（木） オープンハイスクール



2日間にわたり、第3学区統一オープンハイスクールを実施し、延べ874名の中学生・保護者の方が来校されました。

開会挨拶、総合学科についての学校紹介の後、授業見学を行いました。各教室前に、明南ナビゲーターが作成した授業紹介ポスターを掲示していたので、「授業の内容がよくわかった」と好評でした。

その後、体育館では生徒による学校紹介プレゼンテーションを行い、明石南高校の特色をわかりやすく中学生に伝えました。続いて、進路指導や入試に関する説明も行いました。放課後には部活動見学を実施し、参加者は校内を自由に回りながら、各部の雰囲気を感じていました。

今回のオープンハイスクールは、本校について理解を深めてもらう良い機会となりました。

11月10日（月）「地域産業学習」



本校では、1年次の「産業社会と人間」の授業の一環として、自己理解・職業研究・将来設計などを通し、生徒一人ひとりのキャリア形成を目的としたキャリア教育を行っています。

その取り組みの一つとして、明石市内の18社の企業の皆さまをお招きし、地域産業学習を実施しました。生徒たちは約15名ずつ各教室に分かれ、企業の方々から仕事内容や企業理念、地域とのつながりなどについて講義を受けました。

今回の学びを通して、生徒たちは明石市の産業や企業の魅力、働くことの意義について理解を深めることができました。今後は、学んだ内容をもとにグループごとにスライドを作成し、12月に実施される年次発表会で発表を行う予定です。

ご協力いただいた企業の皆さまに、心より感謝申し上げます。

【ご協力企業一覧】（順不同敬称略）

阪神内燃機工業株式会社／株式会社大門／日新信用金庫／株式会社池内工務店  
株式会社コナミスポーツ／株式会社上林電気商会／JA あかし／株式会社グリーンヒルホテル  
日工株式会社／アソート株式会社／シバタ工業株式会社／株式会社エニーデー  
魚の棚商店街／（福）三幸福社会 清華苑／明石市立西部図書館／株式会社鍵庄  
明石ケーブルテレビ株式会社／生活協同組合コープこうべ



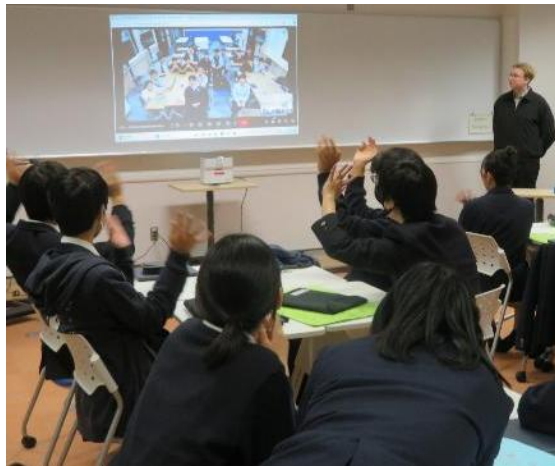
11月18日（火）3年課題研究「金融リテラシー」



3年次の課題研究の授業の一環として金融講座を実施しました。SMBC コンシューマーファイナンス株式会社の初瀬様を外部講師としてお招きし、「契約」についてご講義いただきました。「契約」や「信用」についての説明から、ローンやクレジットカードの仕組みや注意すべき点まで、クイズや動画が織り交ぜられ、たいへんわかりやすく、楽しく学ぶことができました。成年年齢の引き下げにより、18歳から親の同意がなくても契約することができるようになりました。正しい情報を理解した上で、適切に利用しましょう。



## 11月18日(火) 「韓国の光陽高校とオンライン交流会」



本日は、国際理解教育の一環として、韓国の光陽高校とオンライン交流会を実施しました。

本校からは、有志の生徒18名が参加し、画面越しに活発なやり取りが行われました。

今回の交流では、まずお互いの「地域の魅力」や「学校生活」について紹介し合い、その後は、生徒同士で知りたいことや気になったことを自由に質問しました。やり取りは英語を中心に、時にはとても上手な日本語も交えながら進みました。質問に答えるたびに画面越しに笑顔が広がり、思わず両校とも大きく盛り上がる場面もあり、終始あたたかな雰囲気の中で交流が深まりました。

初めての相手校との会話に緊張していた生徒からも、最後には「楽しかった!」という声が聞こえ、短い時間ながらも充実した貴重な経験となりました。生徒たちは、言語や文化の違いを越えてつながる楽しさを実感したようです。

次回は、12月18日(木)に、光陽高校の生徒が実際に本校を訪問し、対面での交流を行います。

オンラインでのつながりをさらに深め、国境を越えて学び合う素晴らしい機会になることを期待しています。

## 神戸マラソンボランティアに参加しました

ボランティア部、男子ソフトテニス部、卓球部が11月16日（日）に行われた神戸マラソンにボランティアとして参加しました。今年度からコースが変更になり、大蔵海岸が折り返し地点になりました。明南生は、コース準備・片づけ、給水、ランナーサポート等の役割を担いました。約2万人のランナーが参加し、特に給水やトイレ案内に当たった生徒たちは大忙しでした。早朝より準備、終了後の後片付けまで、暑い中しっかり活動してくれました。懸命に走るランナーの皆さんの姿を間近で見て、生徒たちも何か感じるころがあったのではないのでしょうか。





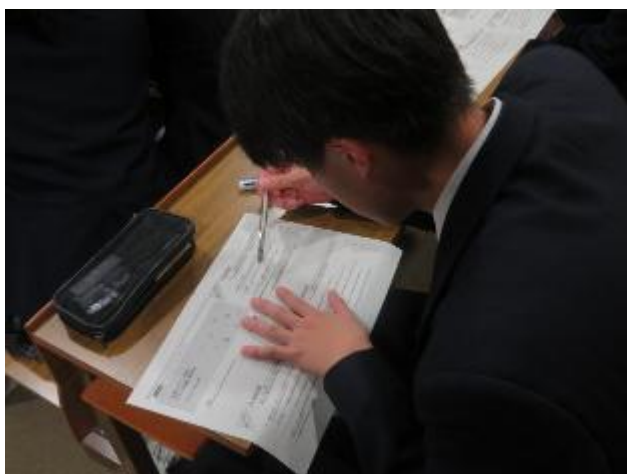
11月18日（火）3年課題研究「金融リテラシー」



3年次の課題研究の授業の一環として金融講座を実施しました。SMBC コンシューマーファイナンス株式会社の初瀬様を外部講師としてお招きし、「契約」についてご講義いただきました。「契約」や「信用」についての説明から、ローンやクレジットカードの仕組みや注意すべき点まで、クイズや動画が織り交ぜられ、たいへんわかりやすく、楽しく学ぶことができました。成年年齢の引き下げにより、18歳から親の同意がなくても契約することができるようになりました。正しい情報を理解した上で、適切に利用しましょう。



## 11月25日（火）3年課題研究「金融リテラシー（第2回）」



本校では、3年次の課題研究の一環として、11月25日（火）に金融講座（第2回）を実施しました。今回は、SMBC コンシューマーファイナンス株式会社より初瀬様を講師としてお招きし、金融リテラシー検定の受験に向けた対策講座を行っていただきました。

講座では、キャッシュレス決済・クレジットカードの仕組み、金利や返済計画の考え方、生活設計に欠かせない金融知識など、日常生活に直結する内容を中心にご講義いただきました。生徒は実際の事例を交えた説明に熱心に耳を傾け、検定対策だけでなく、卒業後の生活にも役立つ知識を学ぶことができました。

11月25日（火）3年課題研究「金融リテラシー（第2回）」

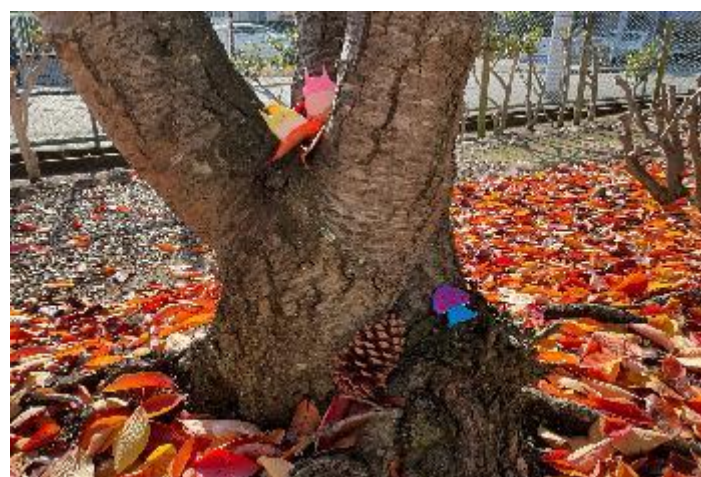


本校では、3年次の課題研究の一環として、11月25日（火）に金融講座（第2回）を実施しました。今回は、SMBC コンシューマーファイナンス株式会社より初瀬様を講師としてお招きし、金融リテラシー検定の受験に向けた対策講座を行っていただきました。

講座では、キャッシュレス決済・クレジットカードの仕組み、金利や返済計画の考え方、生活設計に欠かせない金融知識など、日常生活に直結する内容を中心にご講義いただきました。生徒は実際の事例を交えた説明に熱心に耳を傾け、検定対策だけでなく、卒業後の生活にも役立つ知識を学ぶことができました。



## 11月26日（水） まつぼっくり拾い



本日、鳥羽保育園の年長のみなさんが、本校へまつぼっくり拾いに来てくれました。本校には大きな松の木があり、秋になると毎年、近隣の保育園の園児たちがまつぼっくりを拾いに訪れてくれます。

今回は、本校で「保育基礎」の授業を選択している2年次の生徒たちが園児と一緒に活動しました。生徒たちは、折り紙で作ったトトロやきのこを落ち葉や木陰にそっと隠し、園児たちが見つけて喜ぶ姿をあたたかく見守っていました。

この授業を選択している生徒の多くは、将来保育士を志望しており、今回の交流は実践的な学びの場ともなりました。

本校では、今後も地域とのつながりを大切にしながら、子どもたちや地域の方々とともに学び合える機会を大切に教育活動を進めています。



12月11日（木） 3年次「文章表現」

## グラフィックレコーディング



本日の3年次「文章表現」では、グラフィックレコーディングの実践に取り組みました。

グラフィックレコーディングとは、話し手の内容を絵や図形、文字などを用いてリアルタイムに記録する手法で、情報を整理しながら理解を深めることができる表現技法です。

今回は二人一組となり、インタビュー形式で相手の話を記録しました。話の要点や結論を視覚的に捉えることで、新たな気づきやアイデアが生まれるなど、コミュニケーションの質を高める効果も期待できます。

本校では、こうした新しい表現手法を積極的に取り入れ、生徒一人ひとりの表現力と発想力を育む授業づくりを推進しています。

## 12月11日（木） 「産業社会と人間」小論文



本日、二学期最後の「産業社会と人間」の授業を実施しました。今回は「功罪を指摘し、意見を述べる」文章の作成をテーマに、物事のメリット・デメリットを客観的に捉えたうえで、今後の望ましい在り方を自らの視点で示す取り組みを行いました。

冬休みには小論文課題に取り組み、新学期の初めには小論文模試にて学習の成果を確認する予定です。

本校では、推薦入試で小論文を必要とする生徒が多いことから、1年次より基礎的な思考力・表現力の育成を重視しています。今後も、生徒一人ひとりの進路実現に向け、確かな学力の定着を図る指導を継続してまいります。



## 12月12日（金） 2年次 総合的な探究の時間



本日の総合的な探究の時間では、各ゼミで「ゼミ内中間発表会」を行いました。

これまで取り組んできた先行研究の調査やフィールドワークの成果、そして今後の探究の方向性について、1枚のポスターに整理し、ポスターセッションの形式で発表しました。

限られた時間の中でも、生徒たちはテーマに向き合って試行錯誤を重ね、自分たちの言葉で伝えようとする姿が印象的でした。また、互いのポスターを見合いながら意見を交換することで、新たな視点や課題に気づき、探究をさらに深めるきっかけにもなりました。

今後は、各ゼミの代表者が12月19日（金）の年次発表会で発表します。さらに代表者は、1月の総合学科発表会では全体発表や1年生への発表にも挑む予定です。

中間発表で得た学びや気づきをもとに、ここから探究をどのように発展させていくのか、一人ひとりがさらに探究を深めていくことを期待しています。



## 12月16日（火） 1年次「地域産業学習」発表会



1年次「地域産業学習」年次発表会を実施しました。これまで「産業社会と人間」の授業を通して、明石市内の企業について調査・研究を行い、さらに企業の皆様から直接ご指導いただいた内容をもとに、「明石市の産業」や「働くこと」の意義について理解を深めてきました。

本発表会では、各グループの代表者が、これまでの学習成果を分かりやすく発表しました。当日は、明石商工会議所の中塚様をはじめ、7社の企業の皆様にご来校いただき、生徒たちの発表をご覧いただきました。

講評では中塚様より、「挑戦する気持ちを持ち続け、努力を惜しまず、地域や社会に貢献しようとする意識を大切にしてほしい。チャレンジする姿勢を忘れずに成長してほしい」とのお言葉をいただきました。

また、来校された企業の皆様からも温かい激励や具体的なアドバイスをいただき、発表を行った生徒だけでなく、1年次生全員が、社会で働くことの意義や地域と企業とのつながりについて改めて考える貴重な機会となりました。

## 12月16日（火） 1年次「地域産業学習」発表会



1年次「地域産業学習」年次発表会を実施しました。これまで「産業社会と人間」の授業を通して、明石市内の企業について調査・研究を行い、さらに企業の皆様から直接ご指導いただいた内容をもとに、「明石市の産業」や「働くこと」の意義について理解を深めてきました。

本発表会では、各グループの代表者が、これまでの学習成果を分かりやすく発表しました。当日は、明石商工会議所の中塚様をはじめ、7社の企業の皆様にご来校いただき、生徒たちの発表をご覧いただきました。

講評では中塚様より、「挑戦する気持ちを持ち続け、努力を惜しまず、地域や社会に貢献しようとする意識を大切にしてほしい。チャレンジする姿勢を忘れずに成長してほしい」とのお言葉をいただきました。

また、来校された企業の皆様からも温かい激励や具体的なアドバイスをいただき、発表を行った生徒だけでなく、1年次生全員が、社会で働くことの意義や地域と企業とのつながりについて改めて考える貴重な機会となりました。

## 12月17日（水） 3年次 課題研究年次発表会



3年次による「課題研究」年次発表会を実施しました。本発表会は、2年次から各ゼミに分かれて取り組んできた探究活動の成果を発表する場として行われ、生徒一人ひとりが自ら設定したテーマについて、これまでの研究の過程と成果を発表しました。

本発表会では、問いや仮説の設定、先行研究の調査、実験やフィールドワーク、分析・考察など、それぞれの興味・関心に基づいた多様な探究が紹介され、活発な質疑応答も行われました。探究の成果をもとに新たな問いを設定し、追加研究に取り組む生徒の発表もあり、充実した内容となりました。

神戸松蔭大学の待田先生からは、AIが普及する現代において、情報を得ること以上に、それぞれが自分の視点や関心をもとに問いを立て、探究することが重要であり、その過程が新たな視点や自己理解につながるとの指摘がありました。さらに、探究活動では結果にとらわれる必要はなく、調査やフィールドワークを通して試行錯誤する「過程そのものにこそ学びの価値がある」との講評をいただきました。

最優秀賞は国際・言語ゼミの「貧困世帯に生まれた子どもの悩みとは」と心理ゼミ「見てはいけない夢とその対策法～精神と環境が与える夢への影響～」でした。なお、本発表会で選出された発表は、令和8年1月23日（金）の総合学科発表会において、全体発表として紹介される予定です。



## 12月18日（木） 韓国の光陽高校と対面交流

本日、国際理解教育の一環として、韓国の光陽高校との対面での交流を行いました。本校から18名の生徒が参加し、実際に顔を合わせて言葉を交わす貴重な機会となりました。

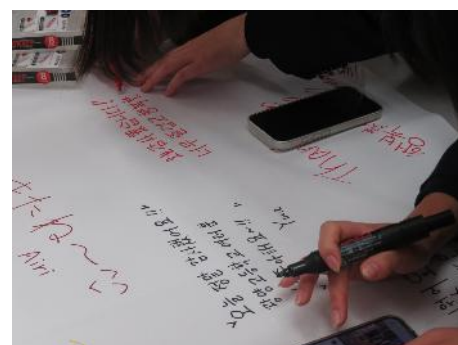
前回のオンライン交流から約1か月。生徒たちは、少しの不安とほどよい緊張感を胸に当日を迎えました。正門での出迎えの瞬間、期待と興奮が一気に高まり、いよいよ交流が始まりました。開会セレモニーでは、両校の校長先生がそれぞれ相手校の言語で挨拶され、会場は和やかな雰囲気に包まれました。その後のアイスブレイクで緊張した空気を少しずつほぐしながら、交流の第一歩を踏み出し、英語や身ぶり手ぶりをを使って相手に伝えようとする生徒の姿が随所に見られました。

続いて、校内案内及び授業見学を行いました。本校1年次の生徒4名が案内役を務め、校内の様々な場所を紹介しました。案内の最中、両校の生徒は自分たちの高校との違いや共通点を比べながら、笑い合ったり驚いたりする場面も見られました。授業見学では、自己紹介や質問コーナーに加え、一緒に数学の問題に取り組むなど、実際の授業を体験してもらいました。同じ「学ぶ場」を共有することで、さらに交流を深めることができました。

文化交流では、光陽高校の生徒によるダンス披露と、本校生徒による日本の遊びの紹介が行われました。ダンス披露では、一つ一つの振り付けに歓声が上がり、会場は大いに盛り上がりました。日本の遊びでは、「福笑い」や「ハンカチ落とし」、「なんじゃもんじゃゲーム」など、多種多様な遊びを一緒に体験しました。笑顔と歓声が広がり、言葉の壁を越えて気持ちが通じ合う、活気あふれる交流の時間となりました。

閉会セレモニーでは、代表生徒による挨拶、記念品の贈呈に加え、共同フラッグプロジェクトを実施しました。一人ひとりのメッセージが書き込まれたフラッグは、日韓交流の象徴として、両校の生徒の心に刻まれるものになりました。

今回の対面交流を通して、生徒たちは「相手に伝わった」という実感を得ることができました。言語や文化の違いを越え、相手を理解しようとする経験こそが国際交流の目的であり、その大切さを体感できた一日となりました。



## 12月19日（金） 2年次 探究活動の中間発表会



本日、「総合的な探究の時間」と「理数探究」の中間発表会を実施し、各ゼミを代表する計16班が発表を行いました。

総合的な探究の時間では、テーマ設定、先行研究の調査、フィールドワークの企画や検証など、これまでの探究の過程や学びの蓄積、今後の展望や課題について、ポスターやスライドにまとめて発表しました。一方、理数探究では、各ゼミの専門性を生かし、さまざまな実験を通して得られたデータや考察が示されました。

発表を聞く側の生徒にとっても、他のゼミの探究内容を知ることによって新たな視点やヒントを得ることができ、今後の探究をより深めていく良いきっかけとなりました。

また当日は、神戸松蔭大学の待田先生にご来校いただき、講評をいただきました。それぞれの発表の良かった点に加え、今後どのように探究を発展させていくとよいか、探究活動において大切な視点などを、分かりやすくアドバイスしていただきました。

今回、最優秀賞に選ばれたのは、近隣小学校との連携や授業実践を通して活動を行ってきた教育実践探究ゼミです。このゼミは、理数探究の生物ゼミとともに、1月23日に本校で行われる、総合学科発表会でステージ発表を行う予定です。また、それ以外のゼミについても、総合学科発表会では1年生に向けた発表に挑戦します。

年内の授業は一区切りとなりますが、探究活動はここからさらに深まっていきます。今回の中間報告会で得た気づきや課題を生かし、それぞれの探究がどのように発展していくのか、今後の取り組みが楽しみです。

## 12月23日（火） 第2回 防災訓練



校内での火災発生を想定した防災訓練を実施しました。今回は校務員室から出火したとの想定のもと、出火場所を避けながら安全な避難経路を確認し、全校生徒が屋外コートへ速やかに避難しました。

訓練後には、明石市消防局の消防士の方から講評と防災講話をいただきました。講話では、①冬季は火災が発生しやすく、近年はモバイルバッテリーからの出火が増えていること、特に結露が原因となる場合があるため、寒い場所から暖かい場所へ移動する際には注意が必要であること、②火災による死因の多くは一酸化炭素中毒であり、煙を吸わない行動が命を守る上で重要であることが強調されました。

また、生徒会の生徒を中心に消火訓練も行いました。消火器の正しい使い方に加え、火災発生時の基本的な対処手順（周囲への知らせ方、初期消火の判断）を実体験を通して学びました。

今回の訓練を通して、日常生活の中に潜む火災リスクへの理解を深めるとともに、いざという時に落ち着いて行動する大切さを改めて確認しました。



## 12月24日（水） 2学期 終業式

本日、2学期の終業式を行いました。校長先生からは、大きな事故やけがもなく、全校生徒が元気にこの日を迎えられたことへの感謝が伝えられました。また、体育祭をはじめ、各年次での進路選択や修学旅行、進学・就職に向けた挑戦など、2学期は多くの行事や経験を通して、一人ひとりが成長を実感できる学期であったことが語られました。



さらに、毎日の挨拶や小さな挑戦の積み重ねを例に、行動を変えることが成長につながるというお話がありました。そして、今日この瞬間をターニングポイントとして、覚悟を持って自分に課せられた責任を果たしてほしいというメッセージが、生徒たちに向けて伝えられました。

最後に、命と健康を大切に、家族への感謝の気持ちを忘れず、3学期にはさらに成長した姿で再会できることを願って、終業式は締めくくられました。

### 表彰伝達

ウエイトリフティング部、男女バスケットボール部、陸上競技部、バレーボール部の生徒が表彰されました。続いて、文芸部、美術部、演劇部の生徒、および総合文化祭において入賞した生徒が表彰されました。

